

船舶事故調査報告書

平成25年1月31日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 庄 司 邦 昭
 委員 根 本 美 奈

事故種類	衝突
発生日時	平成24年7月23日 17時43分ごろ
発生場所	大分県宇佐市長洲港北方沖 宇佐市所在の豊前長洲港導流堤灯台から真方位024°11.8海里付近 （概位 北緯33°45.6′ 東経131°27.8′）
事故調査の経過	平成24年7月24日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	A 貨物船 <small>セーフ セイリング</small> SAFE SAILING（カンボジア王国籍）、1,458トン 8408090（IMO番号）、Yantai Tianhong Shipping Co., Ltd 78.01m×13.00m×6.50m、鋼 ディーゼル機関、1,176kW、1984年建造 B 漁船 <small>かいえい</small> 海栄丸、4.88トン OT3-8766（漁船登録番号）、個人所有 10.62m（Lr）×2.69m×0.78m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数15、昭和58年2月26日
乗組員等に関する情報	A 船長A（中華人民共和国籍） 男性 43歳 免状 不詳 航海士A（一等航海士）（ミャンマー連邦共和国籍） 男性 45歳 免状 不詳 B 船長B 男性 60歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和50年12月26日 免許証交付日 平成22年7月6日 （平成27年8月1日まで有効）
死傷者等	A なし B なし
損傷	A 右舷船首部に擦過傷 B 船首部を損傷
事故の経過	A船は、船長A及び航海士Aほか8人が乗り組み、航海士Aが1人

	<p>で船橋当直に就き、長洲港沖を航行していた。</p> <p>B船は、船長Bが1人で乗り組み、長洲港から漁場に向けて僚船3～4隻の後方から、約9ノット(kn)の速力で自動操舵により北東進中、左舷船首方に東方に向けて航行するA船を視認した。</p> <p>船長Bは、しばらくA船を見ていたが、急に尿意を催したので遠隔操縦装置で約3°船首を左に向けたのち、遠隔操縦装置を操舵室に置き、右舷甲板上に降りて小用を足し、操舵室に戻ったとき、A船が目前に迫っていたので、機関を後進にかけたが、平成24年7月23日17時43分ごろ、北緯33°45.6′東経131°27.8′付近において、A船の右舷船首部とB船の船首部とが衝突した。</p> <p>B船は、衝突後、A船を追尾しながら漁業無線で僚船に事故発生を伝え、その後、自力で長洲港に帰港した。</p> <p>A船は、18時00分ごろ減速して停止し、海上保安庁の調査に応じたが、衝突した事実を認めず、目的地である京浜港に向けて航行を再開した。</p>
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北西、風速 約2～3m/s、視界 良好</p> <p>海象：波高 約20～30cm</p> <p>日没時刻：19時22分ごろ</p>
その他の事項	<p>A船の船舶自動識別装置(AIS)の情報記録による運航状況は、付表1のとおりであった。</p> <p>航海士Aは、本事故の刑事処罰を受けて強制送還され、A船及びA船乗組員の調査を実施することができなかった。</p> <p>(付表1 A船のAIS情報記録(抜粋) 参照)</p>
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>A あり、B あり</p> <p>A なし、B なし</p> <p>A なし、B なし</p> <p>A船は東南東進中、B船は漁場に向けて北東進中、長洲港北方沖において、両船が衝突したものと考えられる。</p> <p>A船は、長洲港北方沖を約9～8knの対地速力で航行していたものと考えられるが、AIS情報記録以外の情報がないことから、衝突に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>船長Bは、左舷船首方に東方に向けて航行するA船を認めていたものの、急に尿意を催し、A船に対する見張りを行っていなかったものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、長洲港北方沖において、A船が東南東進中、B船が漁場に向けて北東進中、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 常時適切な見張りを行うこと。 ・ 衝突を避けるための動作は、十分に余裕のある時期に大幅に行うこと。
--	--

付表 1 A 船の A I S 情報記録 (抜粋)

平成 2 4 年 7 月 2 3 日

時刻	北緯 (° ′ ″)	東経 (° ′ ″)	船首方位 (°)	対地針路 (°)	対地速度 (kn)
17:30:24	33-46-19.7	131-25-49.5	112	112.2	9.1
17:35:04	33-46-02.6	131-26-36.1	114	114.2	9.0
17:40:24	33-45-43.7	131-27-29.0	112	112.6	8.8
17:41:13	33-45-41.0	131-27-36.9	112	113.0	8.8
17:42:13	33-45-37.7	131-27-46.6	112	111.8	8.9
17:42:33	33-45-36.6	131-27-50.0	112	112.7	8.8
17:43:13	33-45-34.4	131-27-56.5	112	112.8	8.8
17:44:03	33-45-31.5	131-28-04.5	113	113.7	8.8
17:45:03	33-45-27.8	131-28-14.1	114	114.7	8.7
17:46:03	33-45-24.3	131-28-23.5	120	119.9	8.6
17:47:13	33-45-19.9	131-28-34.3	111	110.3	8.5
17:48:03	33-45-17.3	131-28-42.4	113	112.0	8.5
17:49:03	33-45-14.2	131-28-51.9	111	109.6	8.5
17:50:03	33-45-11.5	131-29-01.6	110	108.1	8.6
17:55:04	33-45-00.5	131-29-51.6	111	105.3	8.7
17:58:14	33-44-54.1	131-30-21.0	110	104.5	7.4
18:00:14	33-44-50.7	131-30-35.7	112	103.4	4.5
18:02:04	33-44-49.6	131-30-43.2	100	092.5	2.7
18:10:13	33-44-57.4	131-30-54.6	050	010.8	1.3
18:16:03	33-45-01.0	131-30-54.3	165	174.1	0.1